

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2022No.270】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：リヒャルト・ワーグナー

曲名：《パルジファル》より前奏曲

演奏：クリスティアン・ティーレマン指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54494>

2022年12月18日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



以上の他に下記が演奏されました。

リヒャルト・ワーグナー 《パルジファル》より聖金曜日の音楽

リヒャルト・シュトラウス 《4つの最後の歌》

カミッラ・ニューレント(ソプラノ)

ハンス・プフィツナー 《パレストリーナ》より3つの前奏曲

ヨハン・セバスティアン・バッハ

前奏曲とフーガ変ホ長調 BWV 552 (シェーンベルク編)

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、スピーカーケーブルの途中と DA-3000 に自作の仮想アースが使用されています。さらに、DMR-UBZ1 の RCA 端子にも自作の仮想アースが使用されています。また、仮想アース Crystal Ep の導入(7)で報告したように Crystal EpY を Sonica DAC のアース端子に接続してみました。

今回は、PC 経由で再生しましたので、PC にも Clone2UA 経由で自作の仮想アースが使用されていますし、スイッチングハブにも Clone2L 経由で自作の仮想アースが使用されています。

ワーグナーの《パルジファル》の前奏曲と聖金曜日の音楽は、舞台神聖祝典劇と称され

るものからの演奏で、荘厳で弦や木管が静かに流れるような曲で、仮想アースの効果により繊細な表現が活かされています。

シュトラウスの《4つの最後の歌》は、優雅なモーツアルトの歌曲、憂愁の趣のシューベルトの歌曲とは違った、物語風の歌曲で、ニュールントが伸び伸びと歌っています。プフィッツナーの《パレストリーナ》の3つの前奏曲は、静かに流れるような抒情的な表情から一転して激情的に、そして荘厳な雰囲気ですべて終章に向かいます。

バッハの前奏曲とフーガ変ホ長調は、オルガン曲からの編曲と思われそうですが、ピアノで演奏されたり、また、このシェーンベルクの編曲は、壮大な交響曲のような印象も受けます。

今回のプログラムは、多様な表情の曲を集めたもので、その時々表情に合わせてティールマンのリードが変わっていき、ベルリンフィルの音も仮想アースの効果により、的確に追隨していきます。

以上